

児童生徒の学力向上に向けた改善策

【現状と課題】

- 1 学習したことを活用して課題を解決する力に弱さが見られる。
平成28年度 全国学力・学習状況調査の結果

	H26	H27	H28
小6 国語B	65.9(+3.2)	70.3(-3.2)	62.0(-1.0)
小6 算数B	65.5(+2.2)	46.3(-4.1)	53.8(+0.5)
中3 国語B	46.0(-7.7)	69.3(+0.2)	69.7(-1.1)
中3 数学B	51.6(-11.8)	42.2(-2.7)	44.4(-4.4)

()は県平均正答率との差

- 2 家庭学習習慣が確立されていない。

平成28年度 全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙調査の結果

	H27	H28.4	H28.9	H29.1	備考
小6 平日1時間以上	56%	96%	95%	96%	全くしない児童0%
中3 平日1時間以上	54%	86%	86%	92%	全くしない生徒0%
小6 休日1時間以上	54%	79%	70%	74%	全くしない児童2%
中3 休日1時間以上	67%	72%	61%	73%	全くしない生徒4%

【課題に対する改善策】

- 1 教師の授業力の向上

①校内研修の充実

- ・アクティブ・ラーニング(主体的・協働的な深い学び)の視点を取り入れた授業の実践

②研究主任の育成

- ・研究主任連絡会の開催(年2回)
学力調査、学習状況調査等の結果を生かした授業改善についての研修
- ・小中連携を意識した指導法の改善(学期に1回)
小中学校の研究主任による相互の授業の参観及び授業整理会の実施

③複式授業の研究・改善

- ・複式学級を有する学校相互の複式授業の参観及び授業整理会の実施

- 2 児童生徒の家庭学習の量と質の向上

①家庭学習時間調査の実施及び児童生徒への指導

- ・家庭学習時間調査を実施することで、各学校が児童生徒の家庭学習状況を把握する。次の学習時間を満たす児童生徒数の割合が70%以上となるよう、各学校が創意工夫をしながら児童生徒の指導を行う。

児童 1・2年：20分以上、3・4年：40分以上、5・6年：1時間以上

生徒 1年：1時間以上、2年：1時間20分以上、3年：1時間30分以上

②積極的な家庭学習につながる授業の実践

- ・予習・復習を生かした授業を展開することで、児童生徒の「分かった」という実感を高め、更に家庭学習に取り組もうとする意欲につなげる。

③家庭学習時間の確保

- ・21時以降におけるSNSの使用禁止の指導を徹底することで、児童生徒の家庭学習時間の確保を図る。